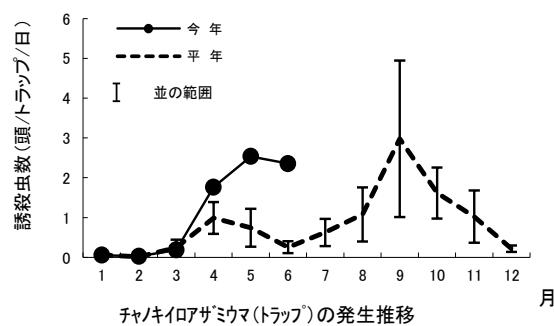
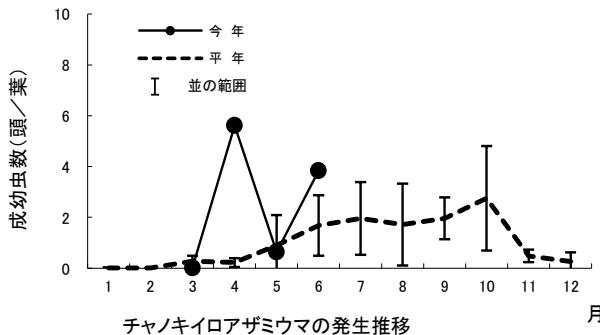


作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	① チヤノキイロアザミウマ		
6 月の発生量（現況）	やや多		
7 月の増減傾向	↗		

増減傾向の根拠  
成虫・幼虫数及びトラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、6月より発生量は増加すると考えられる。

## 発生量の根拠（調査結果）



- 調査地域：石垣市
  - 新葉あたり成虫・幼虫数（頭/葉）：3.8（前年0.4、平年1.7、判定「やや多」）
  - 黄色粘着トラップ誘殺虫数（頭/日）：2.4（前年0.1、平年0.5、判定「多」）
- ※一部施設で多発

## 防除のポイント

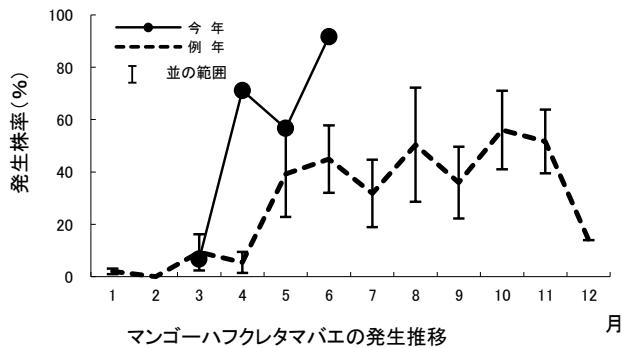
- 不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
- 多発施設では、収穫終了後に薬剤による防除を行う。
- コミカンソウ類など発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

平成 30 年度

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ		
6月の発生量（現況）	多		
7月の増減傾向	↓		



#### 発生量の根拠（調査結果）



- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 発生株率（%）：91.7（前年79.3、例年44.9、判定「多」）

#### 防除のポイント

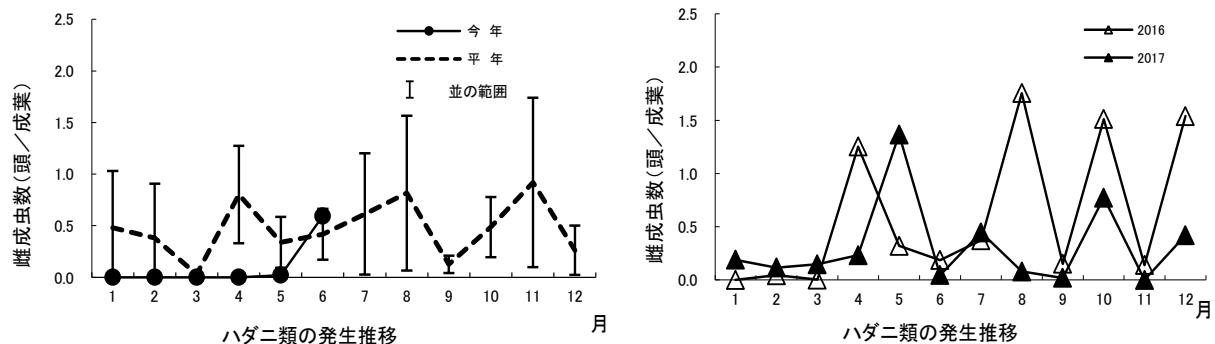
- ・ 幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。
- ・ 翌年の着果枝となる新梢が加害されると減収につながるため、多発施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。せん定枝は施設外に処分する。

平成 30 年度

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	③ ハダニ類		
6月の発生量（現況）	並		
7月の増減傾向	↗		

増減傾向の根拠  
雌成虫数の平年の発生推移から、6月より発生量は増加すると考えられる。

#### 発生量の根拠（調査結果）



- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 成葉あたり雌成虫数（頭/葉）：0.6（前年0.1未満、平年0.4、判定「並」）
- ・ 新葉あたり雌成虫数（頭/葉）：0.1未満（前年0.1）
- ・ 発生種：シユレイツメハダニ  
※一部ほ場で多発

#### 防除のポイント

- ・ 収穫終了後の防除を徹底する。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。